

## 個々の色覚に応じた眼鏡で働きやすさを追求 特例子会社オープンアップウィズにて『イノチグラス』導入実証実験を開始

株式会社オープンアップグループ（本社：東京都港区、代表取締役会長兼社長 CEO：西田 穰）は、特例子会社である株式会社オープンアップウィズ（本社：神奈川県相模原市、代表取締役 大濱 徹）において、障害のある社員一人ひとりの視覚特性に合わせた眼鏡『イノチグラス』の導入実証実験（PoC）を2025年8月より開始したことをお知らせします。本取り組みは、グループが推進する「多様な人材が活躍できる職場環境づくり」の一環であり、視覚から入る情報を最適化することで、業務パフォーマンスの向上と社員の健康維持の両立を目指すものです。



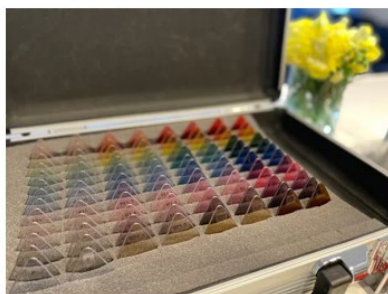
### ■ 背景

オープンアップグループでは、約3万人の社員が多様なフィールドで活躍しており、その中で特例子会社オープンアップウィズは障害のある方の雇用と定着を支えています。現在、同社では386名の社員が在籍し、精神障害・知的障害・身体障害など、それぞれ異なる背景を持つ社員が業務に従事しています。オープンアップウィズの代表自ら『イノチグラス』を試用し、肩こりの軽減や作業効率改善を実感したことから、社員への導入を検討。社員一人ひとりが最適な環境で働けることを目的として、本実証実験がスタートしました。

### ■ 『イノチグラス』について

『イノチグラス』は、個人ごとに異なる色覚の特性を測定し、心と体のバランスを整えるための最適な“パーソナルカラー”を反映したレンズを提供する眼鏡です。視覚ストレスの軽減や集中力の向上が期待され、国内外で注目を集めています。「人の見え方は一人ひとり異なり、それぞれに最適な“色”が存在する」という理念のもと、子どもから高齢者まで、障害の有無を問わず幅広い層に向け“パーソナルカラーレンズ”を提供。国内外で延べ数千人以上の視覚特性を測定し、学習支援や職場環境改善に寄与しています。

イノチグラス（株式会社 Innochi）：<https://innochi.co.jp/>



### ■ 実証実験の概要と今後の展望

本実証実験では、2025年10月までの期間、希望する社員を対象に『イノチグラス』を装着して業務を行い、業務処理件数や疲労度などを検証します。導入前後でのパフォーマンスの変化を比較し、効果が確認できれば、特例子会社初の全社員への『イノチグラス』の導入を進めるとともに、将来的にはグループ全体への展開も検討していきます。

オープンアップグループは、今後もダイバーシティ経営の実践を通じ、すべての社員が自分らしく働ける環境を整備し、社会的な価値創出に取り組んでまいります。

以上

【本件に関する報道関係の方からのお問合せ先】

株式会社オープンアップグループ コーポレートコミュニケーション部

担当：前川

電話：070-1539-3426（土日祝除く平日 10～17 時）

メール：[opg-pr@openupgroup.co.jp](mailto:opg-pr@openupgroup.co.jp)

---